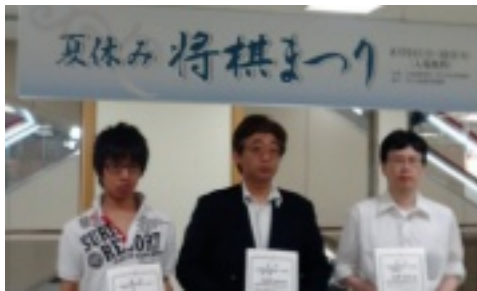


みずなら

日本将棋連盟札幌中央支部（札幌市中央区北3西2NCビル2Fみずなら）
011-788-9215
FAX011-788-9215

復活！東急将棋まつり



初日道新杯優勝・滝野沢和則さん
二日道将連杯優勝・箭子涼太さん
8月9日～10日、二日間にわたり札幌東急百貨店で夏休み将棋まつりが行われた。

初日の北海道新聞社杯上級戦で札幌中央支部会員の**滝野沢和則さん**（上写真中央）が実力を発揮して優

勝。二日目の北海道将棋連盟杯一般戦では**箭子涼太さん**（下写真右から2人目）が優勝した。二人とも全道将棋選手権者・桜庭篤さんが主宰する将棋研究会の常連。互いに切磋琢磨して腕を磨き、結果を出したの



は立派。お見事！
二段獲得戦でも、みずなら常連の**田村宣之さん**が優勝した。

将棋研究会発足
全道将棋選手権者の桜庭篤氏主宰による将棋研究会が発足した。
毎週金曜日18:00
「将棋サロン&カフェみずなら」で。

桜庭篤研究会

全国大会に出場する桜庭氏の特訓場とも言える。
初回は7月23日（金）18:00～に行われた。実践対局を主に。プロの研究会やVSの「対局」+「感想戦」という形式とほぼ同じ。参加者を募集中。

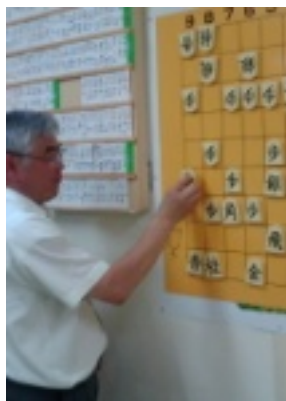
全道選手権者・桜庭篤さん凱旋

7月19日の全道将棋選手権大会で優勝した桜庭篤さんは、同日、将棋サロン&

カフェみずならを訪れ、日本将棋連盟札幌中央支部の仲間に優勝を報告した。同

店では田村公道幹事長をはじめ、支部会員やみずなら常連が集い、桜庭さんを祝福した。

戦した事務局長の田中美旭さんの対局の感想戦（右写真）を行うなど、将棋を中心に大いに盛り上がった。



歩行者天国・将棋イベント

【予告】8月29日（日）

12時より。札幌市中央区南1条西3丁目・パルク（カナリヤ間の歩行者天国）三越前。

番街商店街振興組合 後援・北海道新聞社

60歳以上の参加者募集

中「シルバー将棋大会」

ホコテン活用・路上巨大将棋対局

プロ棋士「指導対局」
鈴木大介八段
大平武洋五段
その他「初心者コーナー」
など将棋イベント
チェスのコーナー
バックギャモンのコーナーなど
当日、会場にどうぞ。

主催・札幌中央支部 & 一

準決勝で対局した強豪・後藤義広さん（写真右）も来店して桜庭さんとの熱戦を大盤で解説してくれた。また、同大会に参



支部会員特典のご紹介（会員募集中・年会費 5千円）

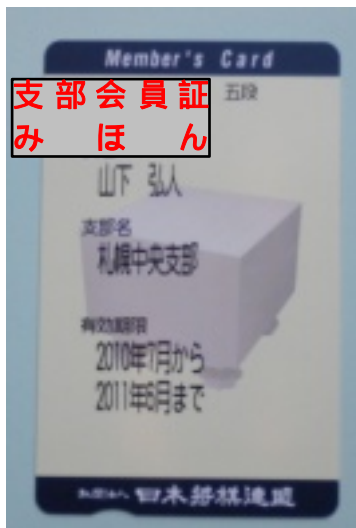
<http://www.rakuten.co.jp/shogi/>

日本将棋連盟札幌中央支部は、日本将棋連盟と緊密な連繋を保ち、北海道棋界の振興発展を目的とするアマチュアの団体です。友好的な愛棋家のかたであれば、どなたでも入会できます。

支部に入会すれば、日将連の商品（書籍、10万円以上の駒・盤、特価品等を除く）を割引価格（20%off）で購入できます。これにはインターネットでの購入が便利です。

日本将棋連盟デジタルショップ（通称、日本将棋連盟DS）は、社団法人日本将棋連盟が運営するインターネット上での直営ショップです。

日本将棋連盟ならではの、オリジナル商品や将棋盤、駒などを注文できます。ぜひご利用ください。



<<インターネット上の申込時に会員番号等を記入>>

支部会員は下記の要領で、会員番号等をネット上で入力することで、地方にいながらにして、日本将棋連盟ならではの、オリジナル商品等を割引価格で購入できます。

会員番号（例.123456）

有効期限（例.20XX年XX月）

会員種別・支部名（正会員、札幌中央支部）

【写真】連盟の「将棋手帳」「会員証」と、会員特典で割引価格で購入した扇子やハンカチ、てぬぐい、将棋年鑑・英語の棋書、脇息、棋譜ノートなど。（一部割引のないものも有。）



特典で割引価格で購入した扇子やハンカチ、てぬぐい、将棋年鑑・英語の棋書、脇息、棋譜ノートなど。（一部割引のないものも有。）



7月結果 みずならリーグ

優勝佐藤文瑠・準優勝
小林昭夫・3位安積弘晃・
4位梅田直樹・5位工藤学・最多勝佐藤文瑠・
最多対局賞工藤学 その
他人賞者・大野國博・前多幸一・泉山一郎・金澤芳宏

札幌中央支部 オリジナルTシャツ

日本将棋連盟 札幌中央支部では、8月29日の歩行者天国での将棋イベントなどで一体感を演出して活動するため、オリジナルTシャツを製作する。デザインはすでに内定しており、白地に札幌中央支部の文字入り。一着千円。希望者は、みずなら事務局へMサイズ、Lサイズなどの大きさを申告して、プリント製作日程の関係もあり、早めに申し込んで頂きたい。

編集後記

「超訳ニーチェの言葉（白鳥春彦編訳）」が売れている。19世紀・ドイツの哲学者フリードリッヒ・ニーチェの著作の紹介本。

ニーチェが将棋を知っていたとは思えないが、ひよつとすると将棋にも当てはまるかな、と感じられる名言もある。

「二人以上で、一緒にいて、同じ体験をし、ともに感動し泣き笑いしながら同じ時間を共に生きていくのは、とても素晴らしいことだ。（『人間的な、あまりにも人間的な』より）」

「勝利した者はもれなく、偶然などというものを信じていない。たとえ彼が謙遜の気持ちから偶然性を口にするとしてもだ。（『悦ばしき知恵』より）」

「天賦の才能がないからといって悲観すべきではない。才能がないと思うのなら、それを習得すればいいのだ。（『曙光』より）」